

テスト設計コンテスト'14

アピールシート

※ 全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

チームID	S130719001	チーム名	FUSION
-------	------------	------	--------

チーム紹介

メンバー全員が違う会社です。

「お互いの良いところを『融合』したテスト設計手法を築きたい！」という意味を込めて、チーム名を『FUSION』と名付けました。

メンバー：村上 仁、来海 大輔、田中 桂三、中嶋 良秀、平岡 岳

コンセプト

コンセプトは、コンテストの為だけのテスト設計ではなく、実業務に適用できるテスト設計を構築すること。

せっかく考えた方法も実業務へ展開する際に、メンバーが代わると各プロセスの理解がバラバラで、うまく適用できない可能性が高い。

そこで、今までテスト設計の経験がない人たちと複数人で手分けしてテスト設計することを想定して、わかりやすく、使いやすいテスト設計の構築を目指した。

工夫点

1. テスト設計プロセスの構築(プロセス定義書とプロセスフローダイアログ(PFD)作成)
 - ・テストプロセスにおける各工程での必要成果物(インプット/アウトプット)を定義し、それぞれのプロセスで実施すべき内容が明確なため、工程間で生じた抜け漏れ等の追跡が容易。
 - ・PFDにより表現したプロセスの流れやプロセス定義書により各プロセスの意味を定義しているため、各テスト対象や組織にあわせたカスタマイズが容易。
2. マインドマップの有効活用
 - ・難しい表記やルールもないマインドマップを利用して、各テーマに沿ってメンバーの知識をできる限り発散させて引き出し、それらを一覧表にして整理するという単純な手順を採用した。
 - ・マインドマップのあるノードだけで抽出できた内容を一覧表に整理して照らし合わせることにより、抜け漏れがあった場合に発見しやすい。
3. マトリクスの巨大化防止
 - ・機能、テスト観点、リスク、利用者要求と目的別にマインドマップを分け、それぞれを各種一覧表で整理してから、テストアーキテクチャのアウトプットであるテストマップ、要求-機能トレーサビリティマトリクスを作成した。